

官民対話検討事業概要書

項目	記入欄
1. 団体名	山陽小野田市
2. 事業名	山陽小野田市文化会館改修に伴う民間活力導入検討事業
・事業内容 ※事業の内容をご記入下さい	平成6年に整備された文化会館は、市民の学術及び文化の向上並びに福祉の増進を図ることを目的として設置された施設である。現在、様々な文化芸術活動等が行われており、年間約5万人もの方々に利用されている。 JR山陽本線厚狭駅新幹線口前という立地の良さ、アクセスの良さを活かした施設のさらなる魅力向上と安定的・効率的な運営を目指し、民間活力の導入可能性について検討するもの。
・事業実施で重視する点	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の文化芸術の中核拠点施設としての環境整備（改修） ・JR山陽本線新幹線口前の立地というアクセスの良さを活用した交流人口の増加
・事業の種類 ※該当する番号に○（複数可）	1. 新設 2. 建替え 3. 改修 4. 管理運営のみ 5. 公有地活用 6. 包括委託 7. その他（ ）
・施設等の用途	文化芸術施設
3. サウンディングの目的	対象施設の市場性の把握と民間活力の導入が期待できる事業内容について意見交換を行い、その内容を踏まえ、今後の改修及び事業運営について検討を行うため。
4. 事業対象地の概要	
① 所在地（交通情報含む）	山陽小野田市大字小野田字郡 1754 番地 ・ JR 山陽本線厚狭駅新幹線口から徒歩 3 分 ・ 山陽自動車道宇部下関線小野田 IC から車で 15 分 ・ 山口宇部空港から車で 40 分
② 敷地面積	14,846 m ²
③ 土地利用上の制約	用途地域外
④ 所有者	山陽小野田市
⑤ 周辺施設等	（公共施設） ねたろう保育園、厚狭地区複合施設（支所、保健センター、厚狭図書館、地域交流センター）、厚狭税務署 （民間施設） 厚狭郵便局、JR 厚狭駅、ビジネスホテル、高齢者福祉施設
⑥ 対象地周辺の一般的なイメージ	土地区画整理事業で整備された区域であり、マンションや戸建てなど住宅地として比較的閑静なエリアとなっている。
⑦ その他	ネーミングライツ導入済「不二輸送機ホール」（不二輸送機工業株

(上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)	式会社) ※H27.5～	
5. 対象施設の概要		
5-1. 建物	既存	整備後(予定)
① 施設名称	山陽小野田市文化会館	変更なし
② 施設の延床面積	4,837 m ²	変更なし
③ 建物の構成(構造、階数)	鉄骨鉄筋コンクリート造 H4年10月着工 H6年3月竣工 5階建	変更なし
④ 主な施設の内容、導入機能	1. 大ホール 客席 746 席 車いす席 3 席 親子室あり 2. 小ホール 定員 132 名(研修時) (262.4 m ²) 舞台：移動式 ロビー間可動仕切り (ロビーとの一体利用可) 3. 研修室 定員 54 名 (83.5 m ²) スクリーン・DVD 有 4. 楽屋 1～5 5. 和室 10 畳 2 部屋 (最大 20 畳) お茶会利用可 6. 茶室 4 畳半の茶室と水 屋利用可能。和室 との併用可。 7. ホワイエ 8. スタジオ 防音機能有 (27.4 m ²) 6. 駐車場 (250 台、おもいやり 5 台) 7. 駐輪場 (20 台)	変更なし(ただし、中長期整備計画の内容により、時代に即した機能向上あり)
⑤ 運営状況 (運営主体、事業手法等)	直営	民間事業者、財団等の運営を検討
⑥ その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)		
5-2. インフラ系 (上下水道、道路等)	既存	整備後(予定)
① 施設名称	【道路】 厚狭停車場郡線 (県道 227 号) 【上水道】 整備済	変更なし

	【下水道】整備済 【電気】中国電力 【ガス】プロパンガス	
② 規模、能力 等		
③ 運営状況 (運営主体、事業手法等)		
④ その他 (上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)		
6. 事業環境		
① 人口、高齢化率	人口 60,540 人、高齢化率 34.7% (令和 4 年 4 月末現在)	
② 対象地周辺の人口構成	厚狭小学校区 (令和 4 年 4 月末現在) 4,545 世帯、10,228 人／男性 4,882 人・女性 5,346 人	
③ 市民意見等		
7. 事業関連		
① 現状及び課題	建設から 28 年が経過し、老朽化が進んでおり、これまで部分的な修繕等により対処している。今後、維持管理する上で、これまで以上に対策費用が増加することが想定され、大規模改修及び館運営の手法についても早急に検討する必要がある。	
② 目的、考え方・基本方針	市民の学術及び文化の向上並びに福祉の増進を目的として設置された施設。	
③ 前提条件		
④ 事業スケジュール(案)	令和 4 年度：老朽化調査及び中長期整備計画作成、屋上防水工事 (第 1 期)	
	令和 5 年度：基本計画、官民連携導入可能性調査、財団化等の検討、屋上防水工事 (第 2 期)	
	令和 6 年度：実施設計、事業者選定 (民間委託の場合)、屋上防水工事 (第 3 期)	
	令和 7 年度以降：大規模改修開始、民間事業者による管理運営 (民間委託の場合)	
8. 対話内容 ※意見・提案を求める内容をご記入ください。	・対象施設の市場性 (立地環境、ポテンシャル) ・民間事業者から見た対象施設の課題 ・施設のサービス向上や効率的な管理運営に適した改修手法 ・施設のサービス向上や効率的な管理運営に関するアイデア ・PFI (RO) やコンセッション、指定管理など民間事業者による管理運営となる場合の公募条件に関すること (応募資格、仕様書、事業期間、リスク分担等) ・市から提供してほしい資料やデータ	
9. 対話を希望する業種	①. 設計 2. 建設 ③. ビル管理 4. 金融 5. 保険	

<p>※該当する番号に○(複数可)</p> <p>注)希望する業種の事業者の参加を確約するものではありません。</p>	<p>6. 不動産 7. 運営</p> <p>8. その他(文化施設の維持管理、文化施設運営、文化芸術関連に係るイベントの企画など)</p>
<p>10. 対話方式</p> <p>※オープン型に限る</p>	<p>①. オープン型</p>

以 上